

# 審査結果

(令和二年六月二十八日)

## 少年部

### 四級合格

増田 栄士

全体的に、組手立ちは腹を締め、前傾にならないようにする。型の二、寄せ足は軸足の横まで引き、後ろまで蹴り上げない。下段回し蹴りは当たる瞬間に力を入れる。ひざ蹴りで相手の頭を押さえる手は、斜め下に向ける。前蹴り、足が真っ直ぐになるよう蹴る。

### 四級合格

高山 律樹

全体的に、組手立ちは腹を締め、前傾にならないようにする。手首を甲側に倒さず真っ直ぐに保つ。型の二、寄せ足は軸足の横まで引き、後ろまで蹴り上げない。下段回し蹴りは足首を締める。ひざ蹴りで相手の頭を押さえる手は、斜め下に向ける。前蹴りは、中段ではなく上段に蹴る。約束組手三の攻撃、寄せた後ろ足は前足を追い越さない。

### 四級合格

石川 煌己

全体的に気合が小さい。組手立ちのとき、足を肩幅に広げる。手首を甲側に倒さず真っ直ぐに保つ。基本稽古・移動稽古の上げ打ち、相手の身体の中心に向かって三角形の方向に打つ。基本稽古の外受け、肩を回す。型の二の寄せ足が不十分なので、軸足の横まで引く。膝蹴りの足首は伸ばす。左回し蹴りは、中段ではなく下段に蹴る。約束組手三の反撃、寄せ足は軸足の横まで引く。回り込んだら、顔だけでなく身体の向き全体を真横に向ける。

## 四級合格

古土井 廉

組手立ちのとき、横は肩幅に広げる。基本稽古・型の内受け、手を一度逆方向に引かず、最短距離で出す。型の二、ひざ蹴りで相手の頭を押さえる手は、斜め下に向ける。手が膝と重なる位置まで引く。約束組手三の反撃、回り込んだら、顔だけでなく身体の向き全体を真横に向ける。

## 七級合格

山崎 脩

全体的に、視線は前に向ける。正拳は、親指までしっかり握ること。基本稽古の回し蹴り、ガードを下げない。横蹴りは足刀を作る。移動稽古の回るとき、手を重ねる位置を高くする。

## 八級合格

倉持 大吾

自分の席から立つとき、座礼の順番を守る。組手立ちのとき、横は肩幅に広げ、前足は前に向ける。基本稽古の回し蹴り、振る手は開く。ガードを下げない。外受けは肩を回す。下段払い、かかとを返す。

## 八級合格

阿部 忠晃

基本稽古の順突き、前足の膝を曲げておく。打ち終わったら元の構えに戻り、肩を引き過ぎない。前蹴り、足が真っ直ぐになるよう蹴る。

## 保留再審査

吉野 梨央

手刀は親指まで付ける。型の一、すね受けはゆっくり回る。右回し蹴り、足を縦にして蹴り上げず、横から回して蹴る。残心は三秒取る。型の二の回し蹴りは、中段ではなく下段に蹴る。足首は締める。ひざ蹴りは、手が膝と重なる位置まで引く。内受けは、斜め前に大きく張り出して受ける。型の三の回し崩しは、後ろへ向かず、斜め後ろまで崩す。膝蹴りは、足首を伸ばす。軸足の膝を伸ばし、大きく上へ蹴り上げる。横蹴りは、しっかりとかかえ込み、引き足を取る。途中で組手立ちになり手を重ねるところは素早く上げる。後ろ回し蹴りは、かかと側で蹴る。約束組手五の反撃、一回目で回り込んだときに足が揃わないように、左右を入れ替える。

型の二、三、約束組手五を再審査。

## 保留再審査

豊岡 藍斗

基本稽古の左横蹴り、足刀を作る。かかと落とし、蹴り終わった足は元の位置へ下ろす。後ろ回し蹴り、相手に当たる瞬間、かかとを引っかけないように蹴る。移動稽古の逆突き、後ろ足のかかをと返す。型の三、回し崩しは一連の動きで円滑に崩す。膝蹴りは、足首を伸ばす。軸足の膝を伸ばし、かかとを上げ、大きく上へ蹴り上げる。横蹴り、しっかりとかかえ込み、引き足を取る。途中で組手立ちになり手を重ねるところは素早く上げる。連続の前蹴り・後ろ蹴りは、前蹴りを上段、後ろ蹴りを中段に蹴る。振り返って内受けは強く。すね受けからの前蹴りは中段に蹴る。残心は、三秒取る。

型の三を再審査。

## 保留再審査

### 古屋 達成

全体的に、組手立ちは腹を締め、前傾にならないようにする。基本稽古の内回し、上段に蹴る。移動稽古の回し蹴り、足首を締める。型の三、裏拳からの右横蹴り、手が二回振れている。連続の前蹴り・後ろ蹴り、前蹴りは上段に蹴る。中段の外受け、両手の間隔を広げ、肘で受ける。後ろ回し蹴りは上段へ蹴る。

基本稽古の内回し、型の三を再審査。

## 保留再審査

### 植木 翔吾

移動稽古の逆突き、後ろ足のかかとを返す。型の三、回り込んで首を取るときは、後ろ足のかかとを返す。回し崩しは、斜め前から斜め後ろまで崩す。膝蹴りは、手を開いたまま腰に引き、横ではなく上へ伸び上がるように蹴る。連続の前蹴り・後ろ蹴りは、前蹴りを上段、後ろ蹴りを中段に蹴る。約束組手五の反撃、回り込むときは相手の位置を想定して、前に出過ぎないようにする。

型の三を再審査。

## 保留再審査

### 古土井 蒼

基本稽古の右内受け、肘を曲げて受ける。下段・中段すね受け、足首を伸ばす。移動稽古の逆突き、打つ前に手を下げず、あごの高さから打ち出す。上げ打ち、前に出し過ぎず、もつと近い位置に相手を想定して打つ。型の二、構えたとき上体が起き、やや後ろ重心になっている。ひざ蹴りは、手が膝と重なる位置まで引く。後ろ蹴りは中段に蹴る。残心は、三秒取る。約束組手四の反撃、後ろ足を交叉して踏み出すのではなく、前足の横へ揃えながら回り込む。

約束組手四を再審査。

# 講評

少年部 昇級審査

## 【色帯受験者】

上級者になるほど、手刀・正拳の作り方、足首は曲げるか伸ばすか、上中下段の区別など・・・正確に表現できるようにしてください。

## 【黄色線受験者】

こういう特別なときにこそ、普段の稽古での振る舞いが活かされま  
す。約束を守り、安全な行動が取れるようになってください。